

北九州市立第1・第2緑地保育センター 指定管理者選定に関する提案概要

審査項目	社会福祉法人 北九州市福祉事業団
<p>1 指定管理者としての適性について</p>	<p>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針  <b>【管理運営に対する理念】</b>            当法人は「一人ひとりの笑顔のために」をスローガンに障害児支援事業や保育事業を展開しており、その知識と実績を活かし、『子どもの未来を育み、みんなの笑顔あふれるまち北九州市』～子育て日本一を実感できるまち～「こどもまんなか社会」の実現に向け、緑地保育センターの事業展開を行います。</p> <p><b>【施設運営の基本方針】</b>            (1) 自然体験型保育 (2) 子育て支援            (3) 環境活動 (4) 職員の資質と専門性の向上</p> <p>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤  <b>【人的基盤】</b>            ・緑地保育センター            経験豊富な指導員・保育士を配置し、知識・技術を活かしたプログラムの提供や子ども達への指導を行います。            ・法人全体            9種67施設の運営による多種多様な福祉・医療専門職の在籍し、施設間連携等により子ども達へのさまざまな保育の提供が可能です。</p> <p><b>【財政基盤】</b>            (短期安定性) 法人全体の流動比率287.6% (令和5年度決算)            (長期安定性) 純資産比率 83.7%、純資産額 85 億円 1298 万円 (令和5年度決算)</p> <p>(3) 実績や経験など  <b>【緑地保育センターの運営】</b>            昭和50年開設の第1緑地保育センター、昭和61年開設の第2緑地保育センター共に、開所当初から当法人が継続して受託運営を行ってきました。長年の運営実績から蓄積されたノウハウに専門職としての知識と指導技術、さらに斬新なアイデアを駆使し、子ども達の一生の思い出となるよう安全管理に基づいた多くのオリジナルプログラムを提供します。</p> <p><b>【類似施設の運営実績】</b>            ●放課後児童クラブ(1所) ●保育所(15所) ●児童館(39所)            ●総合療育センター及び同西部分所 ●ひまわり学園(3所)など            障害児施設の運営</p>

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">2 管理運営計画の適確性</p>	<p>【有効性】に関する取組み</p>	<p>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取り組み</p> <p>ア 自然体験型保育となる施設運営 自然とのふれあいの中で、「ふしぎだな?」と感じる気持ちを育み、「知りたい」「やってみたい」など興味関心を引き出すような環境を整え、体を動かしての集団遊びや、他団体との交流、仲間と協力する経験等、人と人との関りを大切にした保育を提供します。</p> <p>イ 利用者ニーズに沿った施設運営 利用者に満足していただくため、利用者の要望に沿ったよりよいプログラムを提供します。また、苦情や意見に対する窓口を設置し、更なるサービスの向上を目指しています。</p> <p>ウ 市民に開かれた施設運営 育児サークルや一般開放デー等、一般市民を対象とした各種事業を展開します。</p> <p>エ 安全安心な施設運営 危険箇所や補修整備を必要とする箇所について安全対策を行う他、個人情報保護の適正な取扱いを行い、安全、安心を徹底します。</p> <p>オ 市民・利用者の要求や期待に応える施設職員となる。</p> <p>カ 夜まで日帰り保育の提案（新規・提案事業） 日帰り保育を 20 時まで実施し、宿泊保育と類似の体験ができる事業を提案します。</p> <p>(2) 利用者の満足度 利用者アンケートの結果に対応し、宿泊保育における事前打ち合わせを綿密に行い、要望や意見を反映させたプログラムの提供等を行います。更に利用者に対し、SNSやホームページでの情報発信、Googleフォームでのアンケートの実施など、時代の変化に対応することで、満足度向上を図ります。（令和5年度利用者アンケート実績 総合評価100%）</p>
	<p>【効率性】に関する取組み</p>	<p>(1) 指定管理料及び収入 【経費を低減するための工夫】</p> <p>① 業務や備品の法人による一括入札 ② ペーパーレスの推進 ③ 法人本部による事務事業の集約化 ④ 法人のメール便の活用</p> <p>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性 【指定管理業務に係る費用】 事業費等経費には、過去の実績をもとに運営に必要な経費を計上しています。利用者に安全・安心かつ質の高いサービスを提供できるように、必要な人件費や運営費などの経費を算出しています。また、近年の物価高騰を考慮して積算を行っています。</p>

	<p>【適正性】に関する取組み</p>	<p>(1) 管理運営体制など  <b>【統轄管理】</b> 事務局での人事・財務面の集中管理体制を取る他、管理・指導も行います。  <b>【施設管理】</b> 経験の長い所長を管理者とし、保育所等の勤務経験のある職員を配置しています。  <b>【質の向上】</b> 類似施設との交流研修や OJT を活用し、職員のスキルアップを行います。</p> <p>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など  ① 個人情報保護の徹底  各種規程の遵守と個人情報研修を毎年実施  ② 平等利用  宿泊保育は抽選会を開催、日帰り保育等は先着順  ③ 安全対策  安全対策マニュアルに基づく危機管理対策を実施  ④ 危機管理体制  法人事務局に災害対策本部を設置</p> <p>(3) 地域貢献・社会貢献  ① 高齢者の雇用促進  シルバー人材センターの活用  ② SDGsに対応した事業活動  人や物、自然を大切にする気持ちの育成  ③ 地域活動や地域交流などの取組み  新規採用幼稚園教諭研修の講師  ④ 市民の雇用拡大に資する配慮  ボランティアセンター、保育養成校との連携</p>
--	---------------------	--

提案額（千円）

令和7年度	99,481 千円
令和8年度	99,481 千円
令和9年度	99,481 千円
令和10年度	99,481 千円
令和11年度	99,481 千円